

1月10日(火曜日)

ドル/円

## 76円台半ばの攻防に注目

### 9日(月)の主な推移

NYダウ平均

12392.69ドル  
(+32.77ドル)

米2年債利回り

0.2482%  
(-0.0117%)

米10年債利回り

1.9526%  
(-0.0052%)

NY原油先物

101.31ドル  
(-0.25ドル)



期間: 9日(月)午前7時 ~ 10日(火)午前6時30分

※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比

出所: 外為どっとコム

①

前週末の海外市場でのユーロ安の流れを引き継ぎ、ユーロ/円相場にてユーロ安・円高が進み、一時2000年12月以来の安値水準となる97.26円まで下落すると、ドル/円は連れて76.79円まで連れ安となった。ただ売り一巡後は買い戻しが優勢となり、77.00円まで反発した。

②

独仏首脳会談への期待や、会談を前にしたショートカバーの動きからユーロ/ドル相場にてユーロ買い・ドル売りなどを背景に、ドル/円は下落。20時過ぎには76.77円の安値をつけた。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日本の財政赤字への懸念
- ・本邦通貨当局の円売り介入

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の低下
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・米国の追加金融緩和観測の強まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 76.20 - 77.30円

昨日のドル/円は、前週6日に続いて陰線引けとなった事や、20日移動平均線が下向きで推移している事以外にも、6日に発表されたシカゴIMMポジションが前週と比べて3万枚以上の円ロングの増加、投機筋は円先高観を強めている事から、本日のドル/円は下値を試す動きが先行する可能性がある。昨年10月31日の円売り介入以降の安値は76.57円(11月18日)であり、このレベルでは底堅い推移が続いているものの、割り込む場合は76.28円(10月31日陽線実体部2.48円の76.4%戻し)までの下値余地の拡大が予想される。また、76円台半ばでの底堅い状態が続く場合、昨年11月以降は下値を支えた75日移動平均線(本稿執筆時点では77.28円)に向けた一時的な反発余地はあると見られる。(川畑)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/10(火)	24:00		(米) 11月卸売在庫 [前月比]	+1.6%	+0.5%
	24:30		(米) ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	—	—
	25:10		(米) ピアナルト・クリーブランド連銀総裁講演	—	—
	27:00		(米) ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	—	—
	27:00	○	(米) 3年債入札(320億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com